

議事要旨

日本学術会議 物理学委員会 IAU 分科会 (第 25 期第 10 回)

日時：2023 年 9 月 13 日 (水) 13:25-14:10

場所：オンライン会議

出席者：田近 英一、山崎 典子、相川 祐理、浅井 歩、生田 ちさと、今田 晋亮、奥村 幸子、坂井 南美、新永 浩子、須藤 靖、住 貴宏、田代 信、常田 佐久、中畑 雅行、林 正彦、深川 美里、藤澤 健太、観山 正見、村山 斉、山田 亨、渡部 潤一

欠席：梶田 隆章、佐々木 晶、千葉 柊司、藤井 良一

オブザーバー：國中 均 (宇宙科学研究所長)、藤澤 健太 (宇電懇委員長)、大朝 由美子 (光赤天連運営委員長)、山本 常夏 (CRC 実行委員長)、堂谷 忠靖 (高宇連会長)、今田 晋亮 (太陽研連会長)、山岡 均 (国立天文台、IAU 天文教育コーディネーター/IAU 天文アウトリーチ・コーディネーター)、大石 雅寿 (国立天文台)、富田 晃彦 (和歌山大学、IAU 天文教育コーディネーター代表)、清水 敏文 (宇宙科学研究所)

(順不同、敬称略)

資料

資料 1：[IAU1]APRIM 報告

資料 2：[IAU2]NAEC 報告

渡部委員長が議長を務めて司会進行した。以下、(Q) 質問 (A) 回答 (C) コメントをあらわす。

(1) APRIM2023 の報告 (渡部) 【資料 1：[IAU1]APRIM 報告】

日本学術会議の共催として、2023 年 8 月 7-11 日にかけて、福島県郡山市の「ビッグバレットふくしま」で開催された。参加者は合計で約 500 名で、口頭講演数は 235 (現地参加 174、オンライン 61)、ポスター講演数は 149 だった。8 月 12 日には梶田氏、村山氏によるパブリックレクチャーが開催された。このほかサテライトミーティングとして OAO (現地)、Astroinformatics (会津大学)、学校教育サテライトミーティング K-12 (台湾) が開催された。旅費支援申請が 200 名を超えた。これは航空券高騰などが原因と思われる。この対応として IAU 以外に、LOC 組織委員会独自の参加費補助も行った。皇室、大臣など多くの来賓があったこと、呈茶や名産品の紹介 (日本酒など物産展示) が好評だったこと、福島県天文協会による

天体写真展の開催、懇親会でテーマソングが演奏されたことなど、APRIM 開催が国際会議の地方での開催のレガシーを残したことが報告された。

(2) NEAC 活動報告 (富田) 【資料 2 : [IAU2]NAEC 報告】

日本天文教育普及研究会設置された NEAC (天文教育コーディネーター) は日本の天文コミュニティーへの資料の提供を行っていること、また OAE が行っている天文学用語集の翻訳の依頼について、日本では日本天文学会による天文学辞典という優れたものがあるため、そのサイトへリンクすることを検討していること、OAE/NAEC Japan の会合が 2023 年 7 月 18 日に開催されたこと、日本の天文教育関係者に情報共有していることが報告された。

(3) K-12 報告 (富田)

2023 K-12 の会合が 2023 年 8 月 14-17 日に台湾の National Central University で開催された。これは (1) でも触れたように APRIM の教育セッションの拡張と位置付けられている。主に台湾、韓国、タイ、日本から参加者があり、イランからオンライン参加があった。円安の影響等からか日本から参加者が少ないのがやや残念であったこと、現在は中国本土からは参加しにくいこと、台湾の学校の先生が参加していて、英語ができない場合でも司会などがまとめて通訳するなどして、時間をかけずに、うまく言語の壁を越える努力の様子が印象的であったことなどが報告された。

(4) OAO の体制変更について (山岡)

APRIM でブースを出したこと、サテライトミーティングを行ったこと、退職補充の公募を進めていることの報告があった。

(5) IAU 総会の招致について (渡部)

2036 年前後の IAU 総会を日本に招致する方向性を次期以降の本委員会で検討が渡部委員長から提案された。議論の結果、招致の議論をする方針が承認され、次期の分科会で議論することとなった。過去には 1997 年に日本で開催した。2024 年は南アフリカ、2027 年はローマである。最近アジアで開催が続いた (北京、釜山) ので、2036 年頃を目標にするとよいという提案である。

Q (林) チリは総会を招致しているが、どうか。

A (渡部) チリは毎回、手を挙げているが最後まで候補に残っていない。

Q (生田) 財政・マンパワーに不安がある。財政の仕組みを考えるべき。

A (渡部) 財政規模が APRIM の 4 倍になるので、今後十分検討が必要と認識している。

(以上)